



オリエント
CFRPも研磨可能
シート状精密ヤスリ開発

【広島】オリエント（広島県呉市、林光彦社長、08823・79・1155）は5日、炭素繊維強化プラスチック

ツク（CFRP）など難削材の研磨用にシート状の精密ヤスリ（写真）を開発したと発表

した。形状の異なる刃を3方向に形成して切削性を高めており、同じ粗さの紙やすりに比べ、耐久性は15倍以上、切削能力（削れる量）は3倍に高めた。

2019年4月に発売し年

間に10億円の販売を目指す。開発した「オムニシート」は厚さ0.5ミリ、磨く際に曲げられる。ヤスリの刃を成形する目立て加工機を新開発することで、薄い母材を使いながら断面形状の異なる刃を3つの向きに形成することを可能にした。

紙やすりに比べ目が詰まりにくく長持ち。CFRPでも、中粗さの紙やすりと同様の粗さに仕上げられる。発売に向け表面処理方法や持ち手を改良。より薄い母材で丸められるようにしたり、ホイールにして加工機に取り付けたりできるような研究を進める。